

2023年5月17日
イオン北海道株式会社

エコフィード100%給与肉牛を イオン道産デーに当社5店舗で販売します

イオン北海道株式会社（以下、当社）は、北海道コカ・コーラボトリング株式会社と学校法人酪農学園が共同研究を進めている『エコフィード※1給与対象 肉牛』が順調に肥育し、この度出荷を迎えるにあたり、5月19日（金）から3日間実施する「イオン道産デー」において、イオン江別店、イオン札幌桑園店、イオン札幌元町店、イオン新さっぽろ店、イオン札幌発寒店の5店舗の畜産売場にてこの肉牛を販売することをお知らせします。

酪農学園大学は、企業が食品製造の際に排出される加工副産物、製造残渣を利用した家畜用飼料の開発に取り組み、循環型社会の形成に寄与するエコフィードの研究を推進しており、北海道コカ・コーラボトリング株式会社はお茶飲料製品製造時に発生する茶滓を酪農学園大学へ提供し、茶粕発酵サイレージ化※2への共同研究を行っています。

エコフィードの利用を推進することで、廃棄物量の削減、国内飼料率の向上、飼料価格の安定、畜産農家の経営安定につながるほか、地産地消や製造過程の公表、安全・安心な食肉生産という観点からも持続可能な社会の構築に寄与します。



5月15日（月）に行った3社共同記者会見
（左より）イオン北海道（株）青柳社長、（学）酪農学園西田常務理事、北海道コカ・コーラボトリング（株）佐々木社長

今回販売する肉牛は、肥育期間中エコフィードを100%給与した短角牛で、お肉の特徴は赤身主体で程よい脂肪交雑の肉牛です。

当社は、地域連携・地産地消の取り組みの一環として、2021年4月より酪農学園大学の近隣に所在するイオン江別店において、酪農学園大学の学生が飼育した牛肉の販売を開始しました。その後、豚肉においても、イオン江別店、マックスバリュ上江別店、マックスバリュ厚別店で販売開始するなど取り組みを拡大しております。

当社は、地域連携を推進するとともに、SDGsの目標達成に向けた取り組みを進めてまいります。

※1 エコフィードとは

環境にやさしい（エコロジカル）や節約する（エコノミカル）等を意味する「エコ」と飼料を意味する「フィード」を併せた造語で、1.食品製造副産物 2.余剰食品 3.調理残渣 等を利用して製造された家畜用飼料のことです。

※2 茶粕発酵サイレージとは

北海道コカ・コーラボトリング株式会社札幌工場で製造の「お茶製品製造残渣」を小麦粉、ふすまなどと混合し、約1ヵ月の発酵期間を経て完成。これを肉牛用の餌として給与しています。

■SDGsの取り組み

SDGs（持続可能な開発目標）は、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された、2030年までの国際目標です。当社は、SDGsの目標達成に向けて取り組みを推進しています。

